

| | |
|---|---|
| 分 野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 施設の趣旨及び運営理念の徹底 (共通用) | <p>施設の趣旨及び運営理念を職員に徹底させていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 趣旨・理念を実現可能なものとするために、事業計画で具体化させ、研修、会議等により全ての職員に浸透するよう努力し、運営に十分活かしている。 施設の基本方針や理念を遵守した運営を行っている。 施設運営の方針が文書化され、掲示されている。</p> <p>C : Bの一部を実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 分野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 動作介助技術の周知 | <p>体位変換，起立，移動や車椅子操作をはじめ福祉機器類など，基本的日常生活における動作介助技術の訓練を職員に行っていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 入所者の個々の健康の情報が日々把握され，それに対し携わる職員が基本的な知識と技術レベルで対応できるよう訓練プログラムが作成され，訓練が実際に行われている。 車椅子等の福祉機器類について，安全性（ブレーキ等のメンテナンスと事故防止の二面）の観点から点検項目を定め，教育を行っている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p> |
| (特養用) | |

| | |
|-----------|---|
| 分野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 動作介助技術の周知 | <p>体位変換，起立，移動や車椅子操作をはじめ福祉機器類など，基本的日常生活における動作介助技術の訓練を職員に行っていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 入所者の個々の健康の情報が日々把握され，それに対し携わる職員が基本的な知識と技術レベルで対応できるよう訓練プログラムが作成され，訓練が実際に行われている。 車椅子等の福祉機器類について，安全性（ブレーキ等のメンテナンスと事故防止の二面）の観点から点検項目を定め，教育を行っている。 家庭復帰を前提としたADL介助技術について，入所者・家族に対して職員が適時指導している。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p> |
| (老健用) | |

| 分野 | 6 運営管理 |
|-----------------------------|--|
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 新任職員のための系統的な教育 (共通用) | <p>新任職員のための系統的なプログラムがありますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 施設の趣旨・経営理念を始め、必要な業務マニュアルを含めて研修計画が作成され、新任職員に対して集中的または系統的に実施されている。 研修計画は画一的なものでなく、職員の技能・技術等個人のレベルに応じた内容で、随時再研修が可能となるよう配慮されている。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|-----------------------------|---|
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 職員研修や勉強会の計画的実施 (共通用) | <p>職員研修や勉強会が企画され、計画的に行われていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 施設の趣旨・理念に沿い研修計画を立て、職員に対する施設内研修や勉強会が定期的に行われ、関係職員が誰でも参加できる内容となっている。 専門的な個別のテーマについて、必要に応じ協力医療機関や地域の関係機関と連携し、研修会や勉強会が継続的に実施されている。 入所者への接遇について(広い意味でのソーシャルワーク援助技術等も含める)の研修会等へ積極的に職員を派遣している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|---------------------------------|--|
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 施設外の研修会・学会等への積極的参加 (共通用) | <p>施設外の研修会，大会，学会等への，参加や研究発表が積極的に行われていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 活力ある施設を維持するため，全職種を対象に外部研修等へ参加できる体制がとられている。 計画的に研究発表等を行い，参加後成果を職員に発表する機会が与えられ，職員に意欲を持たせる配慮がされている。</p> <p>C： Bのいずれかは実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|------------------------|---|
| 中項目 | (1) 職員への教育・研修 |
| 小項目 | 設 問 |
| 専門資格取得の促進 (共通用) | <p>職員の専門資格取得を積極的に進めていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 職員研修や勉強会で，資格取得の重要性を定期的に教育し，資格取得のための学習会を実施する等配慮している。</p> <p>C： Bの一部を実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|----------------------------|--|
| 中項目 | (3) プライバシー |
| 小項目 | 設 問 |
| 人権・プライバシーへの配慮 (共通用) | <p>入所者の人権やプライバシー保護に、最大限の配慮をしていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、個人情報保護のマニュアルを作成したり、研究会を開催する等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 施設内の入所者や家族に人権やプライバシーの遵守について説明している。 入所者が周囲に聞かれたくないことを、家族等と直接話せるよう配慮されている。 入所者を「人」として尊重する教育を施設内で重視している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|----------------------------|--|
| 中項目 | (3) プライバシー |
| 小項目 | 設 問 |
| 入所者の情報の漏洩への配慮 (共通用) | <p>入所者の情報については、外部に流出しないように配慮されていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 漏洩しないよう管理責任者が明確にされており、特に漏れてはいけないものは、鍵のかかる場所へ保管する。 入所者の入退所、施設療養等にかかる記録・資料等に関して、取扱い要領等をまとめ、細心の注意を払って対応するよう全職員に具体的に周知徹底されている。</p> <p>C : 折に触れ、職員に対し指導している。</p> <p>D : 問題が発生した時点で注意する程度である。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 分 野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (4) 情報開示 |
| 小項目 | 設 問 |
| 個人情報の開示 | <p>利用者・家族からの求めに応じて、サービス提供記録等の開示を行っていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、開示に当たっては、相手に分かりやすく提供できるような工夫や配慮を行うなど、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 入所者・家族の基本情報に関する台帳、ケアカンファレンスの議事録、サービス提供に関する記録等の開示について請求があった場合、直ちに関係の情報を開示して対応している。 開示方法や開示する情報の範囲等を定めた情報開示に関する規程を整備している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |
| (共通用) | |
| [基本中項目] | |

| | |
|---------|--|
| 分 野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (4) 情報開示 |
| 小項目 | 設 問 |
| 財務諸表の公開 | <p>地域住民・入所者に対して財務諸表を公開していますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、地域住民等に対して、施設のパンフレットや広報誌等により公開するなど、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 財務諸表の開示の請求があった場合、直ちに関係の情報を開示して対応している。 開示方法や開示する情報の範囲等を定めた情報開示に関する規程を整備している。</p> <p>C : Bのいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |
| (共通用) | |

| 分野 | 6 運営管理 |
|----------|---|
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 避難訓練等の実施 | <p>不測の事故に備えて、各種の訓練および各種保険制度の活用などの配慮がされていますか。</p> <p>A : B を満たしている上で、さらに優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 防災計画が作られており、「不測の事故」の内容が具体的に事例としてあげられ、それに対する対応策がマニュアル化され、定期的訓練が実施されている。 安全設備について法令等に基づき点検計画を策定し、自主的検査や点検を実施するとともに、その結果を記録している。 保障に備えて、保険会社の保険に加入し、その給付内容も常に検討されている。</p> <p>C : 各種の訓練がなされているとはいいがたく、消防については法律で定められた範囲でのみ訓練が実施され、B のいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |
| (共通用) | |

| 分野 | 6 運営管理 |
|---------------|--|
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 大規模な地震等に備えた対応 | <p>大規模な地震等に備えた対策が講じられていますか。</p> <p>A : B を満たしている上で、地域の被災高齢者等を受け入れることができるよう行政等とのネットワークづくりを行い、生活必需品や救急医薬品等を常時備蓄または委託している等、優れた取り組みをしている。</p> <p>B : 地震等発生時の対応がマニュアル化され、定期的訓練が実施されている。 平常時の流通ルートが遮断された場合でも、入所者の生命や健康が守られるよう、当面の生活必需品や救急医薬品等を確保し、さらに長期化を想定した必需物品のリストを準備している。 施設や職員が大きな被害を受けた場合等に備えて、入所者の受入れや職員の派遣など、連携・協力体制の確立に努めている。 緊急時に、行政、近隣住民やボランティア組織から迅速かつ効果的な支援が受けられるよう、連絡・通報体制を確立するとともに、平常時から避難訓練等の機会を通じて施設の構造や入所者の実態を認識してもらうよう努めている。</p> <p>C : B のいずれかは実施している。</p> <p>D : 上記の配慮がみられない。</p> |
| (共通用) | |

| 分野 | 6 運営管理 |
|-------------------------------|---|
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 対処方法の 確立と徹底 (共通用) | <p>サービス提供中，入所者に病状の急変等の異常事態が生じた場合等の対処方法が確立されていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，すべての安全に対するチェックリストを作成し，定期的に検討を行っているほか，訓練も行う等，優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 対応手順，対応の責任体制，連絡網等の対応を業務マニュアルで定めており，実際に機能している。 訓練は，定期的ではないが行われている。</p> <p>C： 対処方法はあるが，実際に機能するかどうか不安がある。</p> <p>D： 対処方法を定めていない</p> |

| 分野 | 6 運営管理 |
|-----------------------------|---|
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 対処方法の 機能性 (共通用) | <p>サービス提供中，事業者の責めにより入所者の身体・財物に被害を与える等の事故が生じた場合の対処方法が確立されていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で，すべての安全に対するチェックリストを作成し，定期的に検討を行っている等，優れた取り組みをしている。</p> <p>B： 対応手順，対応の責任体制，連絡網等の対応を業務マニュアルで定めており，実際に機能している。</p> <p>C： 対処方法はあるが，実際に機能するかどうか不安がある。</p> <p>D： 対処方法を定めていない。</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| 分野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| ヒヤットハット事象への対応 (共通用) | <p>サービス提供中に、幸いに事故には至らなかったがヒヤットしたりハットとした事象を上司・同僚に報告し、業務改善に活かしていますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、ヒヤットハット事象の内容を記録し、防止対策について会議で検討するなど、優れた取り組みをしている。</p> <p>B： ヒヤットハット事象があった場合、上司・同僚に報告し、業務改善に活かしている。</p> <p>C： Bの一部は実施している。</p> <p>D： 上記の配慮がみられない。</p> |

| | |
|--------------------|---|
| 分野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 記録の有無 (共通用) | <p>事故及び異常事態が生じた場合、その内容、対処方法を記録し保管していますか。</p> <p>A： Bを満たしている上で、記録を基に検証を行い、日常的に異常事態等の再発防止に役立っている。</p> <p>B： 入所者ごとに記録されている保管記録と合わせ、異常事態の種類別など、検索しやすい状態で一定期間保管している。 異常事態による影響が長期間にわたって懸念されるような場合は、別途保管期間等を検討している。</p> <p>C： 記録が不十分である。</p> <p>D： 記録がない。</p> |

| | |
|---------|---|
| 分 野 | 6 運営管理 |
| 中項目 | (5) 事故発生時の対応 |
| 小項目 | 設 問 |
| 賠償資力の確保 | <p>損害賠償が迅速かつ円滑に行えるように賠償責任保険に加入する等、賠償資力の確保に努めていますか。</p> <p>A : Bを満たしている上で、入所者を救済し、組織の安定化を図るため、さらに十分な賠償資力を確保するため、努力している。</p> <p>B : 賠償手段を確保しており、補償範囲・金額共に十分である。</p> <p>C : 賠償手段はあるが、補償範囲又は金額に問題がある。</p> |
| (共通用) | D : 賠償手段を確保していない。 |